

令和6年度 奈良女子大学研究推進プロジェクト経費研究成果要旨

奈良女子大学長 殿

研究代表者
所属・職 研究院生活環境科学系 臨床心理学領域
氏 名 梅垣 佑介

研究課題	反すう思考に焦点化した認知行動療法は女子大学生の反復的・否定的思考を軽減するか？ ーランダム化比較試験「RESUME-CBTプロジェクト」による検討ー
研究成果の要旨 (200字程度で記載のこと) うつ病など複数の精神疾患の発症・維持につながる反すう思考を標的とした認知行動療法の我が国の人口における有効性を検討するため、反すう傾向の高い女子大学生を対象として認知行動療法を提供するランダム化比較試験の実施を開始した。事前のサンプルサイズ計算に基づき102名の協力者を募集予定であり、令和6年度終了時点までで39名が適合となった。令和7年度以降は科研費を取得して研究を継続中である。本研究計画はプロトコル論文として公開予定である他 (Umegaki et al., under review) , 目標サンプルサイズに達した時点で分析を行い、成果を学術論文として公開する予定である。	